



2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月3日

上場会社名 グリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3632 URL http://corp.gree.net/jp/ja/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 良和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員最高財務責任者 (氏名) 大矢 俊樹 TEL 03-5770-9500
 四半期報告書提出予定日 2020年2月3日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績（2019年7月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	32,235	△10.2	1,991	△22.8	3,124	5.8	3,536	58.0
2019年6月期第2四半期	35,885	△12.6	2,581	△48.7	2,954	△48.2	2,237	△42.5

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 5,873百万円 (173.0%) 2019年6月期第2四半期 2,151百万円 (△43.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	15.35	15.29
2019年6月期第2四半期	9.49	9.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	128,067	114,594	89.1
2019年6月期	122,490	110,669	89.9

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 114,066百万円 2019年6月期 110,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2020年6月期	-	0.00	-	-	-
2020年6月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年6月期の配当金につきましては、現在未定です。開示が可能になった時点で、速やかにお知らせ致します。

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しく、新規アプリゲームのリリース等による大きな業績変動が見込まれることから、業績見通しについて適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、連結業績予想の開示を見合わせることに致しました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期2Q	242,249,700株	2019年6月期	242,231,200株
② 期末自己株式数	2020年6月期2Q	11,636,568株	2019年6月期	12,016,161株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期2Q	230,337,356株	2019年6月期2Q	235,778,624株

(注) 自己株式数については、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式（2020年6月期第2四半期：7,134,290株、2019年6月期：7,433,483株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

我が国における個人のスマートフォン保有率は前年比3.8ポイント増の64.7%（出典：総務省「平成30年通信利用動向調査の結果」）と伸びるとともに、2018年の国内ゲームアプリ市場規模も前年比10.2%増の1兆1,660億円（出典：株式会社G zブレイン マーケティングセクション「ファミ通ゲーム白書 2019」）と成長しております。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間において、当社グループは主力とするゲーム・エンタメ領域において、既存のスマートフォン向けアプリゲーム（以下、「アプリゲーム」）の長期運営体制による収益安定化及び海外展開による収益力向上に取り組むと同時に、新規アプリゲームの開発を進めてまいりました。この結果、新規アプリゲーム1本のグローバルリリース及び既存アプリゲーム1本の展開エリア拡大を実現することができました。

また、当第2四半期連結累計期間において、当社出資ファンドが保有株式を売却したことによる投資事業組合運用益971百万円及び当社保有株式を一部売却したことによる投資有価証券売却益2,529百万円を計上致しました。

以上の取り組みにより、当第2四半期連結累計期間の当社グループ業績は、売上高32,235百万円（前年同期比10.2%減）、営業利益1,991百万円（同22.8%減）、経常利益3,124百万円（同5.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,536百万円（同58.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は128,067百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,577百万円増加致しました。流動資産は98,363百万円（前連結会計年度末比3,845百万円増）となり、主な増加要因は「現金及び預金」が4,333百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は29,704百万円（同1,731百万円増）となり、主な増加要因は「投資有価証券」が2,090百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては13,473百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,652百万円増加致しました。流動負債は12,558百万円（同1,673百万円増）となり、主な増加要因は「未払法人税等」が1,712百万円増加したことによるものであります。固定負債は914百万円（同21百万円減）となり、主な減少要因は「その他」が21百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、114,594百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,925百万円増加致しました。主な増加要因は「その他有価証券評価差額金」が2,285百万円、「利益剰余金」が1,212百万円それぞれ増加したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は前連結会計年度末89.9%に対し、当第2四半期連結会計期間末は89.1%と0.8ポイント減少しております。また、支払い能力を示す流動比率は前連結会計年度末868.3%に対し、当第2四半期連結会計期間末は783.2%と85.1ポイント減少しております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ4,333百万円増加し、残高は88,806百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、2,411百万円（前年同期は4,704百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5,449百万円及び売上債権の減少1,013百万円があった一方、投資有価証券売却益2,529百万円及び投資事業組合運用益971百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により獲得した資金は、4,216百万円（前年同期は1,653百万円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入3,975百万円及び投資事業組合からの分配による収入1,848百万円があった一方、投資有価証券の取得による支出1,109百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、2,318百万円（前年同期は3,334百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額2,300百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、引き続きモバイルを中心にインターネットを通じコンテンツやサービスの拡充を行うと共に国内外のユーザーの利用拡大、及び収益基盤の確立・強化に取り組んでまいります。

なお、当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しく、新規アプリゲームのリリース等による大きな業績変動が見込まれることから、業績見通しについて適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、連結業績予想の開示を見合わせることに致しました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	84,472	88,806
受取手形及び売掛金	7,160	6,144
未収入金	1,176	1,446
その他	1,718	1,970
貸倒引当金	△10	△4
流動資産合計	94,517	98,363
固定資産		
有形固定資産	2,417	2,479
無形固定資産		
のれん	246	205
その他	147	133
無形固定資産合計	393	339
投資その他の資産		
投資有価証券	17,652	19,742
繰延税金資産	3,864	2,855
その他	3,860	4,506
貸倒引当金	△215	△219
投資その他の資産合計	25,161	26,885
固定資産合計	27,973	29,704
資産合計	122,490	128,067
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	272	1,984
賞与引当金	567	503
未払金	6,915	6,817
その他	3,130	3,252
流動負債合計	10,885	12,558
固定負債		
その他	936	914
固定負債合計	936	914
負債合計	11,821	13,473

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,362	2,367
資本剰余金	2,360	2,365
利益剰余金	113,730	114,943
自己株式	△8,296	△7,947
株主資本合計	110,156	111,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	2,337
為替換算調整勘定	△51	0
その他の包括利益累計額合計	0	2,338
新株予約権	456	473
非支配株主持分	55	54
純資産合計	110,669	114,594
負債純資産合計	122,490	128,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	35,885	32,235
売上原価	16,302	14,671
売上総利益	19,582	17,563
販売費及び一般管理費	17,001	15,571
営業利益	2,581	1,991
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	1	51
為替差益	86	103
投資事業組合運用益	229	971
その他	55	8
営業外収益合計	374	1,134
営業外費用		
その他	1	1
営業外費用合計	1	1
経常利益	2,954	3,124
特別利益		
投資有価証券売却益	9	2,529
関係会社株式売却益	1,012	—
その他	—	58
特別利益合計	1,021	2,587
特別損失		
固定資産除却損	99	37
減損損失	—	68
投資有価証券評価損	95	72
為替換算調整勘定取崩損	—	52
その他	17	31
特別損失合計	212	263
税金等調整前四半期純利益	3,763	5,449
法人税等	1,527	1,914
四半期純利益	2,235	3,534
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,237	3,536

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,235	3,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	2,280
為替換算調整勘定	△3	52
持分法適用会社に対する持分相当額	△39	5
その他の包括利益合計	△84	2,338
四半期包括利益	2,151	5,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,153	5,874
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,763	5,449
減価償却費	328	347
減損損失	—	68
のれん償却額	145	41
受取利息及び受取配当金	△3	△51
投資事業組合運用損益 (△は益)	△229	△971
支払利息	0	0
為替差損益 (△は益)	△93	△104
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9	△2,529
関係会社株式売却損益 (△は益)	△1,012	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	95	72
為替換算調整勘定取崩損	—	52
売上債権の増減額 (△は増加)	1,028	1,013
未収入金の増減額 (△は増加)	261	△294
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△60	△64
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△122	△386
未払金の増減額 (△は減少)	△393	41
前受金の増減額 (△は減少)	240	41
その他	305	△135
小計	4,247	2,591
利息及び配当金の受取額	3	51
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	453	△230
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,704	2,411
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△638	△215
無形固定資産の取得による支出	△33	△12
投資有価証券の取得による支出	△1,847	△1,109
投資有価証券の売却による収入	22	3,975
関係会社株式の売却による収入	1,012	—
投資事業組合からの分配による収入	564	1,848
敷金の差入による支出	△119	△287
敷金の回収による収入	21	18
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△642	—
その他	7	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,653	4,216
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△3,294	△2,300
その他	△39	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,334	△2,318
現金及び現金同等物に係る換算差額	77	24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△206	4,333
現金及び現金同等物の期首残高	87,196	84,472
現金及び現金同等物の四半期末残高	86,990	88,806

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の処理)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。